



学校だより

第3号 ジャカルタ日本人学校
令和8年(2026年)8月31日
校長本川里美
TEL : 021-745-4130

2学期のスタートにあたって

校長 本川 里美

2学期がスタートしました。元気な子供たちの姿に接し、教職員一同、「また子供たちと、がんばろう！」という思いでいっぱいです。行事や学びがたくさん詰まった2学期、子供たちが互いの良さを認め合いながら、自分らしくのびのびと成長していけるよう見守ってまいります。

さて、今学期のスタートにあたり、本校では「いじめ対策基本方針」の改定を行いました。一番大切にしたのは、「一人一人の人権を守り、誰もが心から安心して過ごせる学校をつくる」ことです。改定にあわせ、教員全員で研修を行い、いじめを未然に防ぐこと、早期発見すること、そして迅速に対応することについて、理解と連携を深めました。なお、改定後の基本方針は本校のホームページにも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

いじめは起きてからどうするかではなく、それ以上に「みんなが心地よく過ごせる環境を、あらかじめつくっていくこと（未然防止）」がとても大切だと考えています。学校生活の土台にあるのは、「自分がされて嫌なことは、人にもしない」という優しさや、「自分も、周りの友達も、みんな大切」と思える心です。

言葉の嫌がらせや陰口、仲間はずれや無視、嫌なことの強要、SNSやタブレットでの傷つく書き込み……こうした行為はもちろんのこと、実は、はやし立てたり、黙って見ていたりすることも、相手を追い詰めてしまう大きな原因になります。本人はほんのいたずらや、見ているだけのつもりであっても、受け止める側にとっては深く重い傷となって残ってしまうのです。「見て見ぬふりをせず、そっと手を差し伸べたり大人に知らせたりする優しさと勇気」も、子供たちと一緒に育んでいきたいと思っています。学校では、定期的なアンケート、いじめに関する授業などを通して子供たちの小さなつぶやきやSOSに耳を傾けています。気になる記述や少し不安な様子が見られたときには、教員が優しく丁寧に話を聞き、一人一人の気持ちに寄り添って対応し「いじめゼロの学校」を目指します。

そして、子供たちの小さな変化に気づき、いじめを未然に防ぐためには、私たち大人の「声かけ」と「見守り」が何よりの力になります。大人が「何か」を感じたときに、声をかけ、気持ちを受け止める。そんな大人の包容力が、子供たちにとって大きな安心の居場所となります。ご家庭と学校が絆でつながり、子供たちを見守ることが一番の安全網です。ご家庭で気になることやご心配なことがございましたら、どうか遠慮なく、いつでも学校にご相談ください。

2学期も、子供たち一人一人が笑顔で輝き、「今日も学校が楽しかった！」と思える毎日になるよう、全教職員で力を合わせてまいります。保護者の皆様、地域の皆様、今学期も温かいご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。